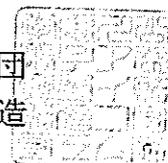


ア電財第0417号
令和4年9月1日

立命館大学
学長 仲谷 善雄 殿
(学生オフィス)

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団
理事長 井上 徳造



令和5年度(第20期)奨学生の募集並びに
令和5年度調査・研究助成対象者の募集等について(依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、弊財団の電子通信工学振興事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記のとおり標記に係る募集等を行いますので貴大学の学生のご推薦をよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1 令和5年度(第20期)奨学生の募集

- (1) 募集期間：令和5年1月4日(水)から令和5年1月20日(金)まで
- (2) 対象者：令和5年度に学部3年生以上の学部生及び大学院生
- (3) 奨学金：月額5万円を1年間給付
- (4) 応募方法等：別紙1の募集要項のとおり

2 令和5年度調査・研究助成対象者の募集

- (1) 募集期間：令和4年12月1日(木)から令和4年12月23日(金)まで
- (2) 対象者：令和5年度に大学院博士後期課程に在学の大学院生
- (3) 助成金：年額30万円以内を給付
- (4) 応募方法等：別紙2の募集要項のとおり

3 海外への渡航助成(通年)事業のご案内

学会等で電子通信工学に関する研究発表を行う学生(大学院生及び学部生)に渡航費等の一部(最大10万円)を支援する事業も行っています。申請受付は偶数月(翌月1日を含む)です。詳しくは、当財団HPのトップページ「振興事業」をご覧ください。<https://www.icom.or.jp/shinkou/>

各案件のご担当が異なる場合は転送いただきますようお願いいたします。

| | |
|---------|-----------------------------|
| 連絡先 | 大阪市平野区加美南 1-1-32(アイコム棟内) |
| Tel/Fax | 06-4303-0162 |
| E-mail | z_hirofumi_omuro@icom.co.jp |
| 担当 | 大室 |

令和5年度(第20期)奨学生募集要項

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団(理事長 井上徳造)は、わが国の科学技術創造立国をより高める中で、基礎技術を持つアナログ技術者を外国に依存し、出来上がった IC(集積回路)を使うデジタル技術者のみが増加する傾向にあることを懸念しております。

将来的に基礎技術を持つ技術者不足を補うためにも、アナログ技術者の育成が不可欠です。ここに、電子通信工学の基礎知識の習得と独創性を持った若い技術者の育成が重要であることから奨学援助を行うことを目的として奨学生を募集します。

1 奨学生の資格等

- (1) 近畿地域(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県をいう。)の大学(高等専門学校専攻科を含む。以下、この要項において同じ。)又は大学院で電子通信工学関係を学んでいる者であって、次の①及び②のいずれかに該当する者。

なお、応募は本財団の当該年度における調査・研究助成金との併願は認めません。

- ① 大学生は給付の時期に3年以上(高等専門学校生は専攻科)に在学のこと。
② 大学院生は給付の時期に在学のこと。

- (2) 前項において、主たる生計維持者が不慮の事故等で、在学中に学費の支出が困難になった者については、選考において一定の考慮を行います。

(奨学生願書の奨学生を希望する理由及び使用目的欄に記載)

2 応募期間

令和5年1月4日(水)から令和5年1月20日(金)まで
(1月20日消印有効)

3 応募書類(様式)の入手方法

当財団のホームページからダウンロードしてください。

URL <https://www.icom.or.jp/bosyu/>

4 応募時に提出する書類

- (1) 奨学生願書(財団制定様式)
- (2) 奨学生推薦書(財団制定様式による在学学長等の推薦書)
- (3) 成績証明書(大学院生は大学院と学部、高等専門学校生は専攻科と本科の両方を提出してください。)
- (4) 本人宛てに選考結果を通知するための返信用封筒(長3封筒に住所、宛名を記入し、84円切手を貼付してください。)
- (5) 提出書類は全て日本語で記載してください。
- (6) 奨学生願書、添付書類は片面で記載して裏面は空白にしてください。
- (7) 写真の裏面には生年月日及び氏名を記載して貼り付けてください。

5 奨学生の選考と決定

- (1) 本財団奨学生選考委員会の選考を経て、採用内定者を決定し、3月中旬ごろに本人及び学校に通知します。
- (2) 内定者の正式採用は、在学証明書の提出により決定します。

6 奨学生の人数

60名予定(ただし、予算により変更する場合があります。)

7 奨学金の額等

- (1) 奨学給付金額は、月額5万円です。
- (2) 本財団の奨学金は、返済の義務はありません。
- (3) 他の奨学金との併給は支障ありません。

8 給付期間

給付期間は、大学3年以上(高等専門学校は専攻科)又は大学院に在籍する令和5年4月1日から1年間です。

9 奨学生の義務

本財団の奨学生に採用内定された方は、次の奨学生証書交付式に必ずご出席していただきます。

10 奨学生証書交付式(予定)

日時 令和5年3月末ごろ(別途連絡)

場所 大阪市平野区加美南 1-1-32

アイコム株式会社 3階会議室

11 奨学生の遵守事項

- (1) 一層の学業に精進し健康に留意して、本財団の期待する奨学生に相応しい態度と言動をとること。
- (2) 奨学金は学業のためにだけ使い、他の目的には一切使用しないこと。
- (3) 奨学金の給付を受けたときは、直ちに奨学金受領書を提出すること。
- (4) 財団が指示する「モノづくり」現場の体験研修(1日)に参加し、研修レポートを提出すること。
- (5) 次の事項が生じたときは、直ちに届け出ること。
 - ア 本人の氏名、住所、電子メールアドレス等の連絡手段に変更があったとき。
 - イ 休学、復学、転学、留学、留年、停学、退学など学籍上の異動があったとき。

12 奨学生終了後のお願い

本財団では、奨学生の方々との「きずな」を大切に考えておりますので、終了後も連絡が取れるようにしてください。

13 個人情報の取り扱いについて

本財団は、個人情報の保護に関する法律の趣旨に基づき、奨学生願書等により取得した個人情報は、選考作業や採用後の奨学金及び連絡（前項の「きずな」を含む。）に関する業務に限定して使用いたします。なお、応募書類等は一切返却いたしません。

14 お問い合わせ・応募先

〒547-0003

大阪府大阪市平野区加美南 1-1-32(アイコム株式会社内)

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団 事務局長

Tel/Fax 06-4303-0162

E-Mail z_info@icom.co.jp

URL <https://www.icom.or.jp/>

奨 学 生 願 書

(1枚目)

令和 年 月 日

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団

理事長 井上 徳造 殿

貴財団の奨学生を希望したいので、所定書類を添付して応募します。

| | | | | | |
|--|--|---------------|-----------------------|--------|-----|
| フリガナ | | | (西暦) (2023年4月1日現在で記載) | 年 月 日生 | (才) |
| 氏名 | 印 | 生年月日 年 月 日 | | | |
| 本人の 現住所 | 〒 ー | | | | |
| 電話 番号 | | | 国籍 | | |
| E-mail (パソコン) | | | E-mail (ケータイ) | | |
| 4月1日 予定の 学籍 | 記載例 ○○大学(大学院)○○学部(研究科)○○学科(専攻)○年(博士前期課程○年) | | | | |
| 家族の 住所 | 〒 ー | | 電話 番号 | | |
| 家族 状況 (年齢は 4月1日 現在で 記載) | 続柄 | 氏名 | 年齢 | 職業等 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 奨学生 を希望 する理 由及び 使用目 的 (300字 まで) | <p style="text-align: center;">(奨学金は学業(例:学費、学会や研究関係費)のためにだけ使用でき他の目的には使用できません。)</p> | | | | |

| | | | |
|--|---|------------------|------|
| 上半身の写真を貼ってください。 (写真の裏面に氏名、生年月日を記載してください。) | 本人履歴 | 学 歴 ・ 職 歴 等 (西暦) | |
| | | 年 月 | 大学入学 |
| | | 年 月 | |
| | | 年 月 | |
| | | 年 月 | |
| 特記事項 | 趣味 | | |
| | 性格 | | |
| 分野 | (1) アナログ基礎技術 (2) 無線通信工学 (3) 左記以外の電子通信工学 (学んでいる分野として最も当てはまるものに○をつけてください。) | | |
| 研究概要 | 研究名 (テーマ) 「 _____ 」 (200 字まで) (概要) (研究室未配属の場合は研究したいテーマとその概要を書いてください。) | | |
| 小論文 | 課題「習得した知識を将来何に活かしていきたいか」(500 字まで) | | |
| (注 7.) 業績 | (学術論文・学会発表等 — 過去 1 年以内に発表した第 1 著者のもの (発表予定で採択が確定しているものを含む)。 なお、当該原稿 (予稿なしの場合は、発表ポスター又は発表スライド若しくは発表が確認できる学会プログラムの該当ページ或いは採択通知) の 1 ページ目のコピーを添付し、表記は論文等の参考文献に準じて記載してください。) | | |
| (注 8.) 備考 | (その他特記すべき業績・アナログ回路に関する事項等) | | |

記載上の注意事項(このページは願書に添付不要です。)

- (注 1) 提出書類は全て日本語(氏名は除く)で記載してください。
- (注 2) 奨学生願書・添付書類は片面で記載して裏面は空白にしてください。
- (注 3) 写真の裏面には生年月日及び氏名を記載して貼り付けてください。
- (注 4) 願書の記載はワープロ又は手書きで作成されてもかまいません。ワープロの場合フォントサイズは 10.5 ポイント以上 12 ポイント以下(原則 12 ポイント)とします。
- (注 5) 記載欄が少ない場合は行数を増やして記入ください。(なるべく、指定字数内でまとめるようにしてください。)
- (注 6) 家族状況欄に書ききれない場合は表を増やして記載してください。
- (注 7) 業績欄に記載しきれない場合は行数を増やして記載してください。
業績の内、学会等での発表論文は、当該原稿(予稿なしの場合は、発表ポスター又は発表スライド若しくは発表が確認できる学会プログラムの該当ページ或いは採択通知)の 1 ページ目を添付してください。
発表論文が複数ある場合は、記載内容と添付資料との関係がわかるようにしてください。なお、卒業論文は含みません。
- (注 8) その他特記すべき業績事項等には学内外での業績並びに国家資格等(電気・電子工学に関するもの)を記載してください。

奨 学 生 推 薦 書

令和 年 月 日

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団
理事長 井上 徳造 殿

○ ○ 大学
学 長 ○ ○ ○ ○ 印
(又は工学研究科長等)

下記の学生は、学業、人物ともに優秀であって、かつ健康であると認められるので、貴財団の奨学生として推薦します。

| | | | |
|--|--------------------------|-----------|--|
| 氏 名 | | 学 籍 番 号 | |
| 現住所 | | | |
| (在学中の大学、大学院、高等専門学校、学部、研究科、専攻、課程、学年を記入してください) | | | |
| | 大学 大学大学院 高等専門学校専攻科 | 学部 研究科 | 学 科 専攻 修士課程 専攻 博士前期課程 専攻 博士後期課程 |
| ※ 該当するものを○で囲んでください | | | |
| 推薦理由(記載者の役職及び氏名) | | | |
| | | | |

(公表日) 令和 4 年 9 月 1 日

令和 5 年度調査・研究助成募集要項

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団(理事長 井上徳造)は、科学技術創造立国としての日本を担うためには、電子通信工学の基礎知識を習得し独創性を持った若い技術者の実践的育成が重要であることから、大学院博士後期課程で電子通信工学に関する調査・研究を行う者に助成を行うことを目的として調査・研究助成金交付対象者を募集します。

1 助成金交付対象者の資格等

近畿地域(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県及び和歌山県をいう。)の大学院で電子通信工学関係を学んでいる者であって、交付の時期に大学院博士後期課程に在学し、独創的で新規性があり、かつ、将来の発展性がある調査・研究を行っている者としします。

応募は一人 1 件を原則とし、本財団の当該年度における奨学生との併願及び電子通信工学振興事業助成金(海外で研究発表を行う渡航費の助成)の交付申請は認めません。

なお、海外で研究発表を行う渡航費を主な経費とした助成を希望する場合は、本財団の電子通信工学振興事業助成金(海外渡航助成)をご利用ください。当該助成に係る応募方法等は本財団 Web サイトの振興事業のページに掲載しています。

2 調査・研究助成の対象分野

- (1) アナログ基礎技術に関するもの
- (2) 無線通信工学に関するもの
- (3) (1)、(2)以外の電子通信工学に関するもの

3 応募期間

令和 4 年 12 月 1 日(木)から令和 4 年 12 月 23 日(金)まで
(12 月 23 日消印有効)

4 応募書類(様式)の入手方法

本財団の Web サイトからダウンロードしてください。
URL <https://www.icom.or.jp/tyousa-jigyou/>

5 応募時に提出する書類

- (1) 調査・研究助成金交付願書(財団制定様式)
- (2) 調査・研究助成金交付者推薦書(財団制定様式による在学する大学院研究科長、或いは大学学長等の推薦書)
- (3) 成績証明書(大学院と学部の両方を提出してください。)
- (4) 本人宛に選考結果を通知するための返信用封筒(長 3 封筒に住所、宛名を記入し、84 円切手を貼付してください。)
- (5) 提出書類は全て日本語で記載してください。
- (6) 調査・研究助成金交付願書・添付資料は片面で記載して裏面は空白にしてください。

6 助成対象者の選考と決定

- (1) 本財団の選考委員会の選考を経て、本財団の理事長が採用内定者を決定し、3月中旬ごろに本人及び大学に通知します。
- (2) 内定者の正式採用は、在学証明書の提出により決定します。

7 調査・研究助成対象者の採用人数

5名程度

8 調査・研究助成金の額等

- (1) 調査・研究助成金額は、年額 30 万円以内とし、その金額は選考委員会において決定します。
- (2) 本財団の調査・研究助成金は返済の義務はありません。
- (3) 他の団体等との助成金の併給は支障ありません。

9 助成期間等

助成期間は、大学院に在籍する令和 5 年 4 月 1 日から 1 年間を対象とし、助成金の交付時期は令和 5 年 4 月下旬を予定しています。

10 調査・研究助成対象者の義務

- (1) 調査・研究活動等の終了後(助成期間の終了後)2 カ月以内に、実績及び研究報告の要旨並びにその収支について、本財団に報告していただきます。また、本調査・研究助成を受けた内容の成果を、その全部或いは、その一部を学会などで報告し、当該誌に掲載された場合には、そのコピーを 1 部添付してください。

これらの調査・研究成果のその内容は、本財団の Web サイトに掲載されることをあらかじめご了承ください。

- (2) 調査・研究成果を公表する場合は、原則として、本財団の調査・研究助成を受けている旨を明示していただきます。また、前記(1)に従い、終了後にコピーを1部添付してください。
- (3) 調査・研究助成を受けた調査・研究成果に関する特許権、著作権等は、当該助成対象者に帰属するものとします。
- (4) 助成金は、調査・研究にあたり通常必要とされる費用(参加費、出張費、物品費、印刷費等)を原則とし、諸給与などの経費は除くものとします。
- (5) 上記の義務に反した場合や、調査・研究内容を変更又は調査・研究を中止した場合は、助成金を返還していただくことがあります。
- (6) その他、調査・研究助成金交付規程を遵守してください。
(調査・研究助成金交付規程は、採用され次第配布します。)
- (7) 次の事項が生じた時は、直ちに届け出てください。
 - ア 本人の氏名、住所、電子メールアドレス等の連絡手段に変更があったとき。
 - イ 休学、復学、転学、留学、留年、停学、退学など学籍上の異動があったとき。

11 調査・研究助成終了後のお願い

本財団では、調査・研究助成金の交付対象者の方々との「きずな」を大切に考えておりますので、終了後も連絡が取れるようにしてください。

12 個人情報の取り扱いについて

本財団は、個人情報の保護に関する法律の趣旨に基づき、調査・研究助成金交付願書等により取得した個人情報は、選考作業や採用後の助成金及び連絡(前項の「きずな」を含む。)に関する業務に限定して使用いたします。なお、応募書類等は一切返却いたしません。

13 お問い合わせ・応募先

〒547-0003

大阪市平野区加美南 1-1-32 (アイコム株式会社内)

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団 事務局長

Tel/Fax 06-4303-0162

E-Mail z_info@icom.co.jp

財団 URL <https://www.icom.or.jp/>

調査・研究助成金交付願書

令和 年 月 日

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団
理事長 井上 徳造 殿

貴財団の調査・研究助成を希望したいので、所定の書類を添付して応募します。

| | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|---|-----------------------|
| フリガナ | | | (西暦) (2023年4月1日現在で記載) |
| 氏名 | 印 | 生年月日 年齢 | 年 月 日生 (才) |
| 本人の 現住所 | 〒 ー | | |
| 電話 番号 | | 国籍 | |
| E-mail (パソコン) | | E-mail (ケイタイ) | |
| 4月1日 予定の 学籍 | 記載例 ○○大学大学院○○研究科○○専攻(博士後期課程○年) | | |
| 家族の 住所 | 〒 ー | | 電話 番号 |
| 分野、 調査・ 研究テ ーマ、 要旨 | 分野 | (1) アナログ基礎技術 (2) 無線通信工学 (3) 左記以外の電子通信工学 最も当てはまるものに○をつけてください。 | |
| | テーマ | | |
| | 要旨 | 調査・研究の要旨を 200 字以内で簡潔に記入してください。 | |

| | | | |
|----------------|--|------|----|
| 調査・研究の目的、計画、方法 | <p>どのような背景、課題があり、調査・研究期間(1年間)で何をどこまで明らかにしようするのか、現時点での構想、その目的並びに独創性を具体的に記入してください。あわせて、その目的を達成するための調査・研究の実行計画と実施方法を具体的に記入してください(助成金の使途(参加費、出張費、物品費、印刷費等)と関連付けて記載願います。)。更に、調査・研究の遂行によって関連研究分野に与える影響や当該研究の発展性についても記入してください。また、これまでに関連する調査・研究を実施している場合は、その内容、準備状況、結果等についても記入してください。</p> | | |
| 調査・研究実績 | <p>調査・研究実績(最近2年間の関係する発表論文等)を記入してください。また、当該論文等の原稿(予稿なしの場合は、発表ポスター又は発表スライド若しくは発表が確認できる学会プログラムの該当ページ或いは採択通知)の1ページ目のコピーを添付し、表記は論文の参考文献に準じて記載してください。</p> | | |
| 希望する助成金額 | <p style="text-align: right;">万円</p> <p>助成を希望する金額(30万円以内)を記載してください。</p> | | |
| 助成金の使途内訳 | 項目 | 算出根拠 | 金額 |
| | | | 円 |
| | 合計 | | |

調査・研究助成金交付願書記入要領

黒インク・黒ボールペン・ワープロ直接印字のいずれかで記入（日本語にて作成）してください。

なお、ワープロを使用する場合、文字の大きさは、10～11ポイント程度とし、カラーは使用しないでください。

書ききれない場合、紙面の追加は差し支えありませんが、別の様式での申し込みはできません。また、調査研究実績以外の資料の添付は認められません。

- 1 「氏名」：フリガナを付して、押印してください。
「生年月日」：申込者の生年月日を西暦で記入してください。
申込翌年の4月1日現在の満年齢を記入してください。
「学籍」：略称ではなく、所属大学の正式名称で記入してください。
- 2 「調査・研究テーマ、要旨」：調査・研究のテーマと要旨を記入してください。テーマは例えば、「〇〇〇に関する調査・研究」など。
続いて、調査・研究の要旨を200字以内で簡潔にまとめ記入してください。
- 3 「調査・研究目的、計画、方法」：どのような背景、課題があり、調査・研究期間(1年間)で何をどこまで明らかにしようするのか、現時点での構想、その目的並びに独創性を具体的に記入してください。あわせて、その目的を達成するための調査・研究の実行計画と実施方法を具体的に記入してください(助成金の使途(参加費、出張費、物品費、印刷費等)と関連付けて記載願います。)。更に、調査・研究の遂行によって関連研究分野に与える影響や当該研究の発展性についても記入してください。また、これまでに関連する調査・研究を実施している場合は、その内容、準備状況、結果等についても記入してください。
- 4 「調査・研究実績」：最近2年間に学術誌などに発表した論文などのうち主要なものを記入してください。共同研究の場合は、研究分担者を含め全員の氏名を記入してください。なお、当該論文等の原稿(予稿なしの場合は、発表ポスター又は発表スライド若しくは発表が確認できる学会プログラムの該当ページ或いは採択通知)の1ページ目のコピーを添付し、表記は論文の参考文献に準じて記載してください。
- 5 「希望する助成金額」：助成を希望する金額(30万円以内)を記載してください。
- 6 「助成金の使途内訳」：助成金の使途内訳を記入してください。費用の一部を負担する場合は、算出根拠欄に「〇〇円×〇個＝〇〇円のうち〇〇円」のように記入し、金額欄には本財団の助成でまかなう金額を記入してください。

調査・研究助成対象者推薦書

令和 年 月 日

公益財団法人アイコム電子通信工学振興財団
理事長 井上 徳造 殿

○ ○ 大学大学院
学 長 ○○ ○○ 印
(又は工学研究科長等)

下記の学生は、学業、人物ともに優秀であって、かつ健康であると認められるので、貴財団の調査・研究助成対象者として推薦します。

| | | | |
|------------------------------------|-------|------|------------------|
| 氏 名 | | 学籍番号 | |
| 現住所 | | | |
| (在学中の大学、大学院、研究科、専攻、課程、学年を記入してください) | | | |
| | 大学大学院 | 研究科 | 専攻 博士(前期・後期)課程 年 |
| ※ 該当するものを○で囲んでください | | | |
| 推薦理由(記載者の役職及び氏名) | | | |